



平成 28 年 8 月 12 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 インタートレード  
代 表 者 名 代表取締役社長 尾崎 孝博  
(コード番号: 3747 東証第二部)  
(URL: <http://www.itrade.co.jp>)  
本 社 所 在 地 東京都中央区新川一丁目 17 番 21 号  
問 合 せ 先 業務執行役員 丸山 與一  
電 話 番 号 0 3 - 4 5 4 0 - 3 0 0 2

### 平成 28 年 9 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 28 年 9 月期（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の通期業績予想（以下、「期初計画」）を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

#### 1. 平成 28 年 9 月期通期の業績予想（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

##### (1) 業績予想の修正

(連結)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,500	百万円 90	百万円 85	百万円 70	円 銭 9.74
今回修正予想 (B)	2,340	10	13	8	1.11
増減額 (B-A)	△160	△80	△72	△62	
増減率 (%)	△6.4	△88.9	△84.7	△88.6	
<ご参考>前期実績 (平成 27 年 9 月期通期)	2,459	△165	△164	△331	△46.08

##### (2) 修正の理由

平成 28 年 9 月期の通期の業績予想について、ビジネスソリューション事業で販売している『GroupMAN@IT e<sup>2</sup>』において、当期中に受注及び検収を見込んでいた案件が現在も引き続き交渉中であり、当期中の検収が見込めなくなったこと、また、平成 28 年 9 月期中に検収予定であった一部の導入案件の検収時期が翌期以降に延伸したこと等により、売上高、利益共に当初予想を下回る見込みとなりました。

ヘルスケア事業はほぼ期初計画通りに進捗しており、金融ソリューション事業においては、売上は期初計画を下回るものの、開発要員の内製化、保守運用の業務効率化による外注費の削減等による費用削減の結果、利益を確保しましたが、ビジネスソリューション事業のマイナス分を補うことはできませんでした。

以上の理由により、通期の業績予想値を上記のとおり修正いたします。

## 2. 今後の方針

ビジネスソリューション事業においては、『GroupMAN@IT e<sup>2</sup>』の導入社数を積上げ、受注から検収までのリードタイムを短縮するとともに、保守契約による収益基盤の安定化を図っていく方針です。

金融ソリューション事業については、これまで減収傾向が続いておりましたが、費用削減効果により当第3四半期において前年同期比で16%の増益となっており、今後も『Prospect』や『MEXⅢ&MSRⅢ』等の当社独自の魅力あるシステムを提供し、インタートレードグループ全体の収益に貢献してまいります。

ヘルスケア事業においては、平成28年8月12日に『産学官のハナビラタケ共同研究中間報告のお知らせ』でリリースしたとおり、ハナビラタケから循環器系疾患で有効と思われる新しい生理活性物質の単離に成功しております。今後は今まで報告されていないこの物質の特定を目指し、新たな有効性を見出してハナビラタケ抽出物に関する新製品の開発及び販売を行ってまいります。

以上

### (注) 業績予想数値について

上記に記載した内容は、本リリースを公表した時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。